

第3回 田原本町基本構想審議会 議事要旨

1. 日 時 令和8年5月15日（金） 午前10時00分～午前11時08分

2. 場 所 田原本町役場3階 301・302会議室

3. 出席者（敬称略）

<審議会委員：出席15名>

- 上村 敏之（関西学院大学経済学部教授） ※会長
- 清水 裕子（畿央大学健康科学部准教授） ※職務代理者
- 植田 昌孝（田原本町議会議長）
- 持田 尚顕（田原本町議会総務文教委員会委員長）
- 眞田 和則（田原本町教育委員会教育長職務代理者）
- 松村 宙亨（田原本町人権教育推進協議会会長）
- 小林 祥孝（田原本町自治連合会会長）
- 吉川 眞司（田原本町商工会会長）
- 服部 誠（一般社団法人田原本まちづくり観光振興機構理事）
- 酒井 茂広（田原本町農家代表者会会長）
- 中川 真治（株式会社南都銀行田原本支店支店長）
- 山田 章生（奈良中央信用金庫理事）
- 鋤田 芳嗣（社会福祉法人田原本町社会福祉協議会会長）
- 川崎 聖子（無作為抽出型公募委員）
- 鈴木 西治（無作為抽出型公募委員）

<審議会委員：欠席6名>

- 村上 清司（田原本町議会厚生建設委員会委員長）
- 村田 稔治（田原本町民生児童委員協議会会長）
- 小嶋 秀之（田原本町医師会会長）
- 山岡 佐規子（田原本町地域婦人団体連絡協議会会長）
- 森田 麻美（田原本町PTA連合会会長）
- 松原 香奈子（無作為抽出型公募委員）

<町側・事務局等：15名>

- 工藤（副町長 / 総合計画策定委員会委員長）
- 大村（教育長 / 総合計画策定委員会副委員長）
- 中辻（町長公室長）
- 森恵（総務部長）

- 吉田（住民福祉部長）
- 田邊（産業建設部長）
- 森（教育部長）
- 寺井（町長公室・産業建設部・教育委員会事務局参事）
- 合田（町長公室参事）
- 扇谷（教育委員会事務局次長）
- 藤本（企画財政課長）
- 三上（企画財政課課長補佐）
- 岡田（企画財政課政策企画係主事）
- 小瀬村（一般社団法人構想日本）
- 秋元（一般社団法人構想日本）※ウェブ参加

4. 議 題

- (1) 議案第1号：田原本町第5次総合計画基本構想案について
- (2) 議案第2号：パブリックコメントの実施について
- (3) その他（答申書案について）

5. 議事内容

【開会・資料確認・会長挨拶】

- 事務局より、PTA連合会会長の交代に伴う委員の変更（下山委員から森田委員へ）を報告。
- 上村会長： 前は委員と事務局が「ワンチーム」となって熱意ある議論が展開された。本日はその意見を反映させた修正案をお示しする。「We（私たち）」を主語に据え、田原本の未来を共に創り上げる視点で忌憚のない意見を願いたい。

【議題1】 議案第1号：田原本町第5次総合計画基本構想案について

- 事務局：
 - 資料の役割分担： 資料1（デザイン案）と資料4（文書版・正本）の関係性について説明。資料4はテキストベースの「文書版」であり、今後のパブリックコメントや町議会提出における正式な「正本」となる。一方、資料1は最新のデザインを盛り込み、住民が完成イメージを直感的に捉えるための参考資料として活用する。
 - 具体的修正内容（資料2）： 前回審議会等の意見を踏まえた修正点（フォント・配色の変更、文言の統一、計画期間の表示方法の修正等）を説明。将来像を支える「3つの柱」を視覚化するため、各政策との関連を示す「木のマーク」を新たに導入したことや、基本目標の「漢字2文字」呼称を削除した旨を報告。
 - 文言修正（資料4）： 正本となる資料4において、「まちの規模の拡大を」や「デジタル技術（DX）」、「農業・商工業」、教育に関する表現等、最新の議論に基づき文言の精査・修正が完了している点に言及。

- ビジュアルへの配慮： イラストについて、無意識の偏見を助長しないよう、多様性に配慮したフラットなデザインへの修正を行った。
- 欠席委員への回答： 本日欠席の小畠委員（医師会会長）より事前に寄せられた「大規模災害時の医療体制への危惧」に対し、基本構想の柱 2 や基本目標 3（防災）、基本目標 1（医療）に位置づけていることを回答。具体的な施策は「基本計画」において検討・推進する方針を説明。
- 意見への対応方針（資料 3）： 前回の各委員からの意見に対する事務局の考え方を整理。計画のコンセプト維持のため記載を見送った点や、具体的な実行段階の内容として次なる「基本計画」へ確実に引き継ぐ事項等について、どの委員のどの意見がどう反映されたかを詳細に報告した。

（各委員からの意見・質疑）

■ 全体構成・基本デザインへの評価

- 鈴木委員・鍬田委員・山田委員・酒井委員・小林委員： 前回の議論が反映され、非常に入念かつ見やすくまとまっている。洗練された文章で、町民の活動がトピックスとして織り込まれている点も良い。
- 清水委員： 事務局による丁寧な取りまとめを高く評価する。特に、誰の意見がどう反映されたかをこの場で明確に発表した点について、委員の声を大切にする素晴らしい姿勢である。
- 川崎委員： 構成が分かりやすく整理された。今後は「何をもって達成とするか」という指標についても検討を続けたい。
- 中川委員： 特に「3 つの柱」のマークが入ったことで、どの政策に紐づくかが視認しやすくなった。
- 吉川委員： 時代を反映したデザインと、多くの人の意思を反映した分かりやすい言葉が運用されている。商工会としても「生きた計画」になるよう取り組みたい。

■ 表記の統一・細かなレイアウト修正について

- 松村委員： 目次にある「町長のご挨拶」は基本構想の章の内側ではなく外（前）に出すべき。また、基本目標の数字が「01」と「1」で混在しているため統一が必要。
- 清水委員： 7 ページの「01」等のデザインやフォントを次ページ以降のアイコンと合わせ、リンクが分かるようにすべき。また、目標 5 のマーク抜きの修正や、子どものイラストが女の子に偏らないよう多様性への配慮を求める。ページをめくると木が成長するような演出も検討してほしい。
- 持田委員： 政策に柱のマークを紐づけているが、事業によっては複数の柱に関連するため、今後の策定の制約にならないか。また、8・9 ページのレイアウトで、基本目標のラインは中央から引く方が見やすい。
 - 事務局・会長： ご挨拶は章の外に出す。表記の統一やイラストの微調整等については、デザイン性と整合性を考慮し、最終的な調整を一任いただきたい。（了承）

■ 概要版・その他

- 眞田委員： 広く町民に読んでもらうには、さらに重複を整理して薄くサッと見やすいものにしてはどうか。
 - 上村会長： 本資料は計画書本体のデザイン案である。眞田委員が指摘された「概要版」は、別途作成する予定である。（了承）
- 植田委員： 前日まで能登半島地震の被災地視察（議員視察）を行っていた。発災時に公助は期待できない現実を痛感し、基本目標 1 の「お互いさまの心（共助）」の重要性を改めて支持する。
- 服部委員： 歴史と文化を重んじる田原本ならではの要素をさらに盛り込んでほしい。
 - 上村会長： 基本目標 2「歴史と文化でつなぐ」において重点的に位置づけている。（了承）

【議題 2】 議案第 2 号：パブリックコメントの実施について

- 事務局： 令和 8 年 6 月 1 日から 30 日まで実施。多角的な周知に加え、中高生など若い世代へも積極的にアプローチし、幅広い意見収集に努める方針を説明。

（各委員からの意見・質疑）

- 持田委員： 募集期間について、より多くの意見を募るために 30 日より長く確保できないか。
 - 上村会長・事務局： 答申に向けた最終審議会までの修正期間を逆算すると、実務上の限度は 30 日である。周知活動を徹底することで密度の高い意見収集を図りたい。（了承）

その他（答申書案について）

- 事務局： 素案の構成： 上村会長主導のもと作成された「答申書案（資料 7）」について説明。資料 4（基本構想案）そのものを本審議会としての答申とし、そこにこれまでの議論を踏まえた「4つの意見」を付帯させる構成をとっていることを報告。
 - 4つの意見の内容： ポイントとして、1. 住民協議会の実施など「共創」プロセスへの高い評価、2. 「自分たちのまちは自分たちで創る」という当事者意識・共創自治の精神の浸透、3. 人口減少を見据えた「縮充」の視点への評価、4. 次なる基本計画の具体的施策への確実な落とし込みと進捗管理の徹底、について説明した。

（各委員からの意見・質疑）

- 持田委員： 合併 70 周年の節目である歴史的背景や、策定した「将来像」の文言を前段に明記すべき。また、素案にある「事務局案を追認する場ではない」旨の表現は不適切であるため削除を求める。
- 清水委員： 意見 2 の「当事者意識」について、住民だけでなく企業や行政も等しく当事者として協働する関係づくりであることを明示すべき。
 - 上村会長： いずれも重要な視点である。合併 70 周年への言及や将来像の明記、ま

た企業等を含めた主体性の表現について調整を行う。会長・事務局にて最終調整を行い、次回提示する。（了承）

6. 閉 会

- 上村会長： 本日頂戴した有意義な意見を反映させ、次回の最終回にて「正式な答申案」をお示ししたい。皆様の想いが詰まった素晴らしい答申になるよう、最終調整を行っていく。
- 事務局（藤本課長）： 委員各位の熱心な議論に感謝申し上げます。本日いただいた意見や来月のパブリックコメントの結果を踏まえ、次回はいよいよ町長への答申となるよう準備を進める。
- 次回（第4回・最終回審議会）は、7月17日（金）午前10時より同会議室にて開催予定であることを案内し、閉会。